

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
血液検査学実習	2年次	必修	実習	1単位（45時間）	五十嵐康之 ※
授 業 概 要					
自動分析機器の進歩により、検査現場と学校教育とはマッチしないものが増えてきているが、用手法を習熟することで基礎を確実に学び、測定原理と検査所見から臨床的意義を理解し、疾患を類推できる。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ正しく採血を行うことができる。 ・用手法から基本技術をマスターする。 ・血球を正確に観察できる。 ・血球を観察し正しく分類・判定できる。 ・各種検査の理論及び臨床的意義を説明できる。 ・検査の基準値を列挙できる。 ・検査結果から疾患を分類・類推できる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1-6	末梢血標本作成・染色・観察				五十嵐康之 ※
7-12	アルカリホスファターゼ染色・ペルオキシダーゼ染色・エステラーゼ染色				小菅 優子 ※
13-16	各種血球算定（赤血球、網赤血球、白血球、好酸球）				
17-19	自動血球計数装置測定・赤血球恒数計算				
20-23	Hb濃度測定・Ht値測定・赤血球抵抗試験・赤血球沈降速度				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書及び配付資料をもとに復習をするとより理解できる。 ・不明な点は必ずその場で解決すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習試験等（60%）及びレポート（40%）により評価する。 ・レポートは評価基準に従い評価し、これを満たさない場合は評価しない。 ・再試験ではレポートの再評価はしない。 ・やむを得ない事由による欠席の場合は、補習実習を行う。 					
先 修 科 目					
生物学、解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、病理学、基礎医学実習					
教科書、参考書					
[教科書] 最新臨床検査学講座 血液検査学 奈良信雄 他 医歯薬出版 ビジュアル臨床血液形態学 第3版 平野正美 他 南光堂 病気がみえる vol. 5 血液 土屋達行 他 MEDIC MEDIA 標準採血法ガイドライン 日本臨床検査標準協議会(JCCLS)					
[配付資料]					